



東地中海地域ニュース

レバノン：大統領選出に向けたスフェイル大司教のイニシアティブ

(10月11 - 12日付現地報道)

1. キリシト教マロン派の精神的指導者であるスフェイル大司教は、大統領選出に向けたイニシアティブとして、10月11日に野党グループのマロン派政治指導者と、12日に親政府グループのマロン派政治指導者と各々会合を開き協議した。
2. 会合出席者
 - (1) 親政府グループ：ハルブ国会議員（立候補表明）、ナシーブ・ラフード前国会議員（立候補表明）、ジャアジャア・レバニズ・フォーシーズ指導者、ジュマイエル・カタール最高指導者（元大統領）、ムアツワド社会問題相、シャムウン国民自由党党首、エッデ国民ブロック党党首、フベイシュ国会議員。
 - (2) 野党グループ：アウン自由愛国運動指導者（立候補表明）、フランジーエ・マラダ運動指導者。
3. 会合における発言
 - (1) スフェイル大司教
新大統領が選出されない場合、レバノン国家、特にそのキリシト教徒国民は深刻な危機に直面する。自分は過去のこの種の試みが上首尾にできなかったことから、会合開催に消極的だったが、多くの国民の要望を受けこれに同意した。レバノン国民が支持できる新大統領が選出されねばならない。
 - (2) 親政府グループ
ジャアジャア指導者：2005年国会総選挙後アウン指導者との政治協力を考えたが、同氏がヒズボラとの協力を明らかにし今日の政治的緊張を引き起こしたことから、同氏を新大統領として受け入れられない。過半数での大統領選出は、大統領不在を避けるための最後の手段である。
ジュマイエル最高指導者：過半数での大統領選出を避けるため、ベッリ国会議長とハリーリ・ムスタクバル運動指導者の協議の継続と、スフェイル大司教のイニシアティブが具体的成果を生むことを望む。
 - (3) 野党グループ
アウン指導者：まず3分の2以上の国会議員での選出に合意し、その後、親政府グループの候補を含む全大統領候補を対象に交渉すべきである。
フランジーエ指導者：親政府グループが3分の2以上の国会議員で親政府グループの大統領候補以外からの選出に合意するならば、アウン指導者の立候補撤回を保証する。
4. 親政府グループと野党グループは、新大統領に求める資格要件を協議する小委員会の設置に合意した。同委員会の具体的活動内容、メンバー等について非公式協議が続いている模様。